



病院のご案内

外来のご案内

入院・お見舞いのご案内

診療科・部門

医療・福祉関係の方へ

てんかん



静岡てんかん・神経医療センター > 診療科・部門 > てんかん > てんかんの食事治療

< 診療科・部門

てんかん

- > てんかんの外科治療
- > てんかんの診断・検査
- > てんかんの治療
- > **てんかんの食事治療**
- > リハビリテーション

小児の発達診療

神経内科

- > 認知症疾患医療センター

重症心身障がい

- > 通所支援事業「ひまわり通園」
- > 短期入所事業(ショートステイ)

医療連携室

医療福祉相談室

看護部

薬剤部

リハビリテーション

- > 理学療法・作業療法・言語聴覚療法
- > 神経心理
- > 療育指導室

てんかんの食事治療

薬でなかなか良くならないてんかんや、手術のできないてんかんの治療法として、当院では食事療法を取り入れていています。適応の有無は個々の患者さんにより異なりますので、薬を工夫しても良くならない、あるいは手術できない難治てんかんで困っておられる方は一度担当医に相談してみられるのもいいかもしれません。食事療法には次のようなものがあります。

ケトン食療法

主に小児のてんかんを対象としています。脂肪が多く炭水化物(糖質)が少ない食事で、脂肪、たんぱく質、糖質・炭水化物の比率を一定になるように毎食計算します。必要に応じ特殊専用ミルクを併用しながら医師と栄養士の管理のもとで施行します。1921年から使われていますが1995年以降にアメリカで急速に普及し、ケトン食療法に関する研究報告は飛躍的に増加しています。點頭てんかん(ウエスト症候群)から部分てんかんまで様々なタイプのてんかんとあらゆる発作型に有効である可能性があり、半分の患者さんで発作頻度が半分以下になるという報告が多いようです。有効な場合は数年間食事療法を続けた後に徐々に緩めながら中止します。外国の小児病院には「ケトン食専門外来」が多いのですが、日本では限られた施設でのみ続けられているのが現状です。ケトン食療法には低血糖・体重減少・発育障がいなどの副作用がありますが重篤なものはなく、絶食期間のない穏やかな開始方法により安全に施行できるようになってきています。

修正アトキンス食療法

食事の特殊性からケトン食療法はほぼ小児に限られていましたが、成人にも施行できるように導入されたのが修正アトキンス食療法です。成人肥満の治療目的でアメリカにおいて開発されたアトキンス食療法をてんかん治療に合わせて修正を加えたもので、脂肪を多めに摂取するのは同じですが、ケトン食療法とは異なり食事の糖質・炭水化物の総量のみを制限するので、より簡便な方法です。外国では成人のてんかん患者さんにも有効性が確認されつつあります。ケトン食療法を続けられない子供さんにも試みる価値があるでしょう。

てんかんの食事療法についてのより詳しい情報は [NPOケトン食普及会のホームページ](#) もご覧ください。
(小児科 今井克美)